

広報 NASUKARASUYAMA

那須烏山

— No.87 —

2012
December

12

Public Relations Magazine
of Nasukarasuyama City

地域の魅力を再発見! (近代化遺産)… 2
蓄電池電車を烏山線に導入…………… 8
叙勲・受賞おめでとうございます…10
烏山城発掘調査結果を説明……………12
まちの話題……………18
インフォメーション……………20



どれがあまいかな(七合保育園みかん狩り)



地域の魅力を再発見!

—— 近代化遺産を活用したまちづくり ——

どうくつ酒蔵を活用したコンサート。

選奨土木遺産認定 防空監視哨

どうくつ酒蔵

東京動力機械製造(株)地下工場跡
(現…どうくつ酒蔵と烏山防空監視哨の
2施設が、公益社団法人土木学会によ
る平成24年度選奨土木遺産に認定され
ました。この2施設を含む近代化遺産
は、先人たちが築いてきた貴重な財産と
して、継承や活用が期待されています。
今月号では、本市の近代化遺産、さら



に、これらを活用して展開されている
イベントなどを紹介します。近代化遺
産を活用したまちづくりについて、一
緒に考えてみましょう。



選奨土木遺産の仲間入りを果たした
東京動力機械製造(株)地下工場跡と烏山
防空監視哨。今回、この2施設が認定さ
れた理由は、

- 東京動力機械製造(株)地下工場跡
戦車製造の軍需工場として人力だけ
で建造された総延長600mの素掘り
ずい道群で、意匠・技術力を超越した迫
力が感受される土木遺産である。
- 烏山防空監視哨(栃木県の防空関連施設

■東京動力機械製造(株)地下工場跡
(現：島崎酒造どうくつ酒蔵)
完成年：昭和20年 形式：素掘りト
ンネル群
【解説】高さ・幅とも約3.5mの3本の
坑道と5本の横坑で構成されたもの。
隣接した半地下工場では約20台の戦
車が製造されたが、ここでは製造す
ることなく終戦を迎えた。宇都宮市
に隣接し、掘削に爆薬を必要としない
凝灰質砂岩の丘陵であったことなど
から、当地に建設されたと思われる。
第二次大戦終結後、坑道は放置され
たが、平成6年に地元酒造業者が
地権者から借用し、坑道内の舗装と
電気工事等の整備を行い、平成8年
から熟成酒の貯蔵庫に利用している。
平成14年から施設を一般公開し、17
年からは坑道内でのコンサートを企
画するなど、まちづくり活動にも活
用されている。

群の一施設として)
掩体壕(航空機を敵の攻撃から守るため
の格納庫)3基と、監視哨(敵機を発見し
防衛司令官に報告する施設)2基の県下
現存防空関連施設群で、特異な時代
体制下における土木技術の一つの役
割を伝える希少性に富む遺産である。
ということからでした。

11月16日には、宇都宮市内のホテ
ルで開かれた「平成24年度土木の日
の集い」での認定書授与式で、両施設
の関係者に認定書や青銅製の銘板が
手渡されました。本市では、平成19
年度の境橋認定に続くもので、現在、3
施設が選奨土木遺産となっています。

同学会では、貴重な土木構造物の
保存や社会へのアピール、さらにまち
づくりへの活用などを目的に「この認定
制度を平成12年に創設しました。同
学会の選考委員会により、技術的・テ
ザイン的に優れたもの、由来やエピ
ソードが豊富な構造物などを「選奨
土木遺産」として認定し、表彰してい
るものです。本年度は、全国で25件、栃
木県で2件6施設が認定されました。

本市では、これまで、商工会や県内
の大学などと連携する那須烏山市ま
ちづくり研究会(大久保忠且委員長)が、
近代化遺産の調査や活用に取り組ん



■栃木県の防空関連施設群(烏山防空監視哨を含む)
完成年：昭和16年 形式：コンクリート造
【解説】昭和16年の「防空監視隊令」の発令を受けて策
定された「栃木県防空計画」により整備・建造された。
県内には監視隊本部が3か所設置され、43か所の監視
哨と4か所の補助監視哨が設けられた。外周直径約
4.2m、内周直径約2.6mのコンクリート製らっぱ形で、
県内に現存が確認されるのは烏山・口栗野の2基のみ
である。所々剥離はあるが、保存状態は概ね良好。「近
代化遺産全国一斉公開事業」で、平成19年以降毎年公
開されるとともに、NPO法人によるツアー企画にも
取り上げられるなど活用が進められている。

公開されている近代化遺産

本市では、今回認定された選奨土木遺産2施設のほか、次の4施設が公開されています。



■境橋(平成19年度土木学会選奨土木遺産)

主要地方道常陸太田那須烏山線の那珂川渓谷に架けられた橋長112.5mの上路式RC開腹アーチ橋。昭和12年に竣工。橋脚上に4つの半円バルコニーが設けられている。近代のバルコニー付きRC橋は、全国で8橋のみ。



■旧烏山病院(現:烏山和紙会館)

大正12年に開業した病院。現在は烏山和紙会館として活用されている。木骨モルタル造二階建てで、切妻屋根の擬洋風建築物。縦長の上げ下げ窓や半円形のドーマー窓など、ドイツ表現派建築の影響が見られる。



■旧国鉄烏山駅舎(現:JR)

大正12年の烏山線開通に伴い開設。瓦葺き切妻屋根木造平屋建てで、当初は2つのドーマー窓があったが、その後の改修で撤去された。文化移入の窓口として、本市の近代化を支えた施設である。



■烏山通運(株)石造り倉庫群

烏山駅近くに3棟併設。栃木県特産の大谷石造りで昭和14年に2棟、翌年に1棟造られた。当初の入り口は欠円アーチで、物資搬入には大八車を使用。現在は、フォークリフト用の新しい入り口に代えられた。壁外部には多数のバットレス(支え)が設置されている。

17の近代化遺産

できました。そこで中心的に活動してきたのが、足利工業大学の福島二朗准教授による福島研究室です。今回の認定も、土木学会選奨土木遺産選考委員会委員である福島准教授らの尽力によるものといえます。

今回認定された2施設は、いずれも戦争に関する遺産です。戦争遺産というと、マイナスのイメージがありますが、これを平和利用に役立てるなど、様々な提案も寄せられています。

本市では、平成13・14年に実施された文化庁の補助事業による「栃木県近代化遺産(建造物等総合調査)」をもとに、福島研究室が調査した結果、現在、17の近代化遺産が確認されています。近代化遺産とは、幕末から昭和戦前期にかけて、欧米からの新しい技術や文化・制度の導入によって建造され、日本の近代化に貢献してきた構造物や建築物のこと。現在では、新たな観光資源

として注目されています。貴重な地域資源として、「保存継承」と「活用」が期待される近代化遺産ですが、なぜ、活用が必要なのでしょう。当然、まちおこしに有効という理由もありませんが、活用されるということは、その施設が地域や所有者にとって「必要」とされていることでもあります。活用されることが、すなわち、保存につながるのです。老朽化が進み、維持費が掛かる利用目的のない建築物は、次々と取り壊されてしまう。これが現実なの

近代化遺産とは…

幕末から明治・大正・昭和戦前期にかけて、欧米からの新しい技術や文化・制度の導入によって建造された産業・交通・土木・軍事・教育・文化施設など、日本の近代化に貢献してきた構造物や建築物です。私たちの現在の生活や文化の直接の基盤になったもので、地域の歴史を感じさせる身近な遺産といえます。また、昨今の「歴史ブーム」や「その土地ならではの文化に触れる」等、新たな観光の対象として注目されています。

です。

近代化遺産のうち、現在、一般公開されているのは、東京動力機械製造(株)地下工場跡、烏山防空監視哨、境橋、国鉄烏山駅舎(現:JR烏山線烏山駅舎)、旧烏山病院(現:烏山和紙会館)、烏山通運(株)石造り倉庫群の6施設です。そのほか、一般公開されていない森田トンネル、神長砲弾貯蔵坑、辻薬局兼住宅、阿久津医院、生井家住宅、私立烏山学館(現:烏山高等学校川俣記念館)、旧町立烏山実践女学校講堂(旧烏山女子高等学校講堂)、耕便門、森田発電所、藤田発電所、塩谷家住宅(南那須歴史民俗資料館)の11施設があります。

市では、まちづくり研究会が中心となり、施設の一斉公開などのイベントを開くことで、近代化遺産の魅力を市内外の多くの人たちに伝えてきました。

近代化遺産・ 選奨土木遺産

を活用したイベント

近代化遺産公開イベント トークショーとコンサート

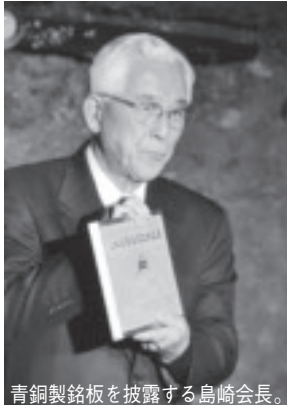
まちづくり研究会では、毎年、近代化遺産の全国一斉公開に合わせて、イベントを開催しています。今年も、11月23日、「近代化遺産全国一斉公開2012 in なすからすやま」を開きました。今回公開したのは、どうくつ酒蔵、鳥山駅舎、和紙会館、境橋、鳥山防空監視哨の5施設でした。



近代化遺産の活用を探るトークショー。

れました。トークショーに先立ち、土木学会から授与された認定書や青銅製銘板が、大谷範雄市長から同酒蔵を管理する(株)鳥崎酒造の鳥崎利雄会長に伝達され、参加者に披露されました。

トークショーでは、まず、福島准教授が選奨土木遺産や近代化遺産について解説。その後、福島准教授を進行役に3人が登壇し、遺産の活用などをテーマに話し合いました。大谷市長は、「鳥山駅は市の玄関口。JR鳥山線と連携したまちづくりにも取り組みたい」と述べました。鳥崎会長は、「戦争遺産はマインスイメージだが、先人の努力により造られたもの。どうくつの空きスペースを、地域の皆さんが元気になるような活動に活用してほしい」、福田弘平観光協会会長は「自然、歴史、文化の薫るこの地域の『宝物探し』を今後も続ける。鳥山城や近代化遺産、和紙などを将来に残していきたい」と話していま



青銅製銘板を披露する鳥崎会長。

した。

第2部では、日本レコード大賞「優秀アルバム賞」を受賞した宇都宮市出身のシンガーソングライター「せきぐちゆき」さんのコンサートが開かれました。「鳥山女子高等学校」をキーワードにした「卒業」や、来年2月に発売される「鳥山線」など、本市にゆかりのある歌を含め、全7曲を熱唱したものでした。会場内の照明は、和紙灯り作家の鎌田泰二さんによるものです。

まちなか観光ツアー

公開イベントに合わせて、市と観光協会によるまちなか観光ツアー「歩いてみよう近代化遺産」が開かれ、市内外から20人が参加しました。

コースは、鳥山駅を出発し、鳥山通運(株)石造り倉庫群、山あげ会館、鳥崎酒造、鳥山和紙会館を徒歩でめぐるとなりました。足利工業大学の学生がガイドを務め、参加者は、近代化遺産3施設などを通して、当地域の歴史や文化に触れました。

近代化遺産の絵画展

子育て支援に取り組むNPO法人野うさぎくらぶ(矢口和美代表)による「子どもたちが描く近代化遺産絵画展」が開かれ、11月15日から25日まで、市内25

子どもたちが描いた近代化遺産。



店舗に作品が飾られました。

作品は、同くらぶと足利工業大学が8月下旬に実施した近代化遺産めぐりのミステリーツアー参加者などに描いてもらったものです。鳥山商店会連合会の協力で、会員の店舗に約200点が展示され、買い物客などの目を楽しませました。

ほかに、まちづくり団体等による

催しが盛んに開かれています。

環境教育活動で境橋を渡る

地域資源を生かした教育活動やまちづくりなどに取り組む市民団体「なす

から教育支援ネットワーク(望月千登勢代表)では、11月18日、環境教育活動の一環として初めて、「橋!歩いちゃおう」を開きました。市民、スタッフ、応援

隊など、2歳から70歳代まで、幅広い年齢層の60人が参加し、清掃活動をしながらか、境橋を歩いて渡るものでした。当日は、宮原のひのきやで、境橋や那

■足利工業大学 福島二朗准教授 活用プログラムの研鑽、これからも

那須烏山市に、十数件を数える近代化遺産が現存していることは、地元皆さんが、文化の継承を通して地域を大切にしてきた証といえます。各地の近代化遺産は、残念ながら次々と姿を消しているのが現状です。栃木県では、平成13・14年の調査で確認された約430件の近代化遺産のうち、現在把握しているだけでも60件ほどが消失しています。

近代化遺産は、地域の近代化という新しい時代を拓き牽引してきた記念碑です。この歴史の語り部としての地域資産を後世に伝えていくためには、これらの価値評価を行うとともに、活用していくことが大切です。それが保存につながるのです。

昨年の東日本大震災の影響などから、那須烏山市でも、近代化遺産の撤去更新が検討されています。難しい選択をせざるを得ない状況が、各地で起きています。地域の財産としてこれらの遺産を次代に伝えていくためには、市民一人一人の未来に向けた眼差しとともに、行政が

果たすべき役割も重要になってきます。

本年度、本市では、土木学会選奨土木遺産として新たに認定を受けた2件を加え3件となり、県下有数の選奨遺産保有自治体となりました。平成22年に策定された「那須烏山市観光振興ビジョン」でも近代化遺産の活用が謳われていますが、今回の認定は、市が進めるまちづくり戦略の一つの弾みになったと思います。

現在、多くの地方都市では、若年労働者層を中心に大都市への流出が続いています。税収の減少とそれに伴う財政基盤の脆弱化などを踏まえ、地域経済の縮小が大きな課題として指摘されています。近代化遺産などの地域資源を活用したまちづくりは、これらの課題に対応した地域再生の一手法として、地域交流・流入人口の拡大を目指し各地で行われている取り組みの一つです。歴史文化の理解は、地域への愛着心の醸成ともなります。特に、近代に建造された近代化遺産は、おじいちゃんおばあちゃんも利用した施設であり、世代間コミュニケーションを促す

効果も期待できると思います。今回、市内で活動されている市民グループの皆さんとの協働により、近代化遺産を活用したイベントをいくつか開催しました。当研究室の学生たちが地域の皆さんと膝を交え、市民の皆さんと一緒に、ひとつのプログラムを企画・遂行できたことは、大きな成果として捉えています。遺産活用プログラムの研鑽を進めながら、市民グループの皆さんの地域に寄せる思いを側面から支えていく取り組みを、今後も継続していきたいと考えています。



足利工業大学福島准教授(右)と研究室ゼミ生の皆さん。

教育支援ネットワークによる「橋!歩いちゃおう」。



珂川に関する講演が行われました。まず、足利工業大学の福島准教授や学生が、境橋の特徴や歴史を熱心に解説。県土木事務所や那珂川流域悠遊会による講演終了後、参加者は説明を聞いたばかりの境橋を実際に渡りました。橋の途中にある4か所のバルコニーからは、「関東の嵐山」と呼ばれる落石の紅葉や、那珂川に遡上するサケを見学しました。レインボーハウスでは、竹細工づくりなども楽しみました。

JR 駅からハイキング

JR 東日本大宮支社主催の駅からハイキング「清流那珂川の紅葉と、サケの遡

■なすから教育支援ネットワーク 望月千登勢代表

次世代につながる地域づくりを目指して

まちづくり研究会の成果報告会に毎年参加し、近代化遺産をまちおこしに活用していきたいと考えていました。多くの皆さんと連携し、今回、

近代化遺産の境橋に触れてもらう事業を開催することができました。

「なすから教育支援ネットワーク」は、地域住民や社会教育団体と連携し、豊かな自然や歴史的建築物、伝統の技などを活用して、人づくりやまちづくりを進め、次世代のために地域の問題解決を目指す団体です。

これからも、この地域にある「いいもの」を次世代につながる事業に取り組みたいです。今回かかわってくれた人たちは、皆さん好意的で、それ

ぞれの得意分野を生かしたプログラムや、近代化遺産の造られた背景などを考えるプログラムなども検討していきたいです。

今回の事業では、参加者やスタッフの喜びが感じられ、生きがいづくりができたものと思います。

各種団体の集いなどに利用できる地域の活動拠点「コミュニティひろば Bon Bon (ボンボン)」を金井2丁目の空き店舗に開設しました。お気軽にご利用ください。

上を楽しむ烏山散策」が、11月10日から26日まで開かれ、316人が参加しました。今回は、烏山駅を出発し、境橋から那珂川の紅葉や遡上するサケを見学するなど、約10キロのコースでした。参加者は、烏山和紙会館や石造り倉庫群など、近代化遺産4施設をめぐるりました。



このように、近代化遺産は、観光誘客にとどまらず、地域を見つめ直す目的などにも活用されています。さらに、これらの催しの開催を通して、まちづくり団体同士の連携が強化されるなどの効果も生まれています。

これからも地域の近代化を支えてきた貴重な地域資源を後世に残していくことにより、先人たちの思いを伝えていくことが必要ではないでしょうか。近代化遺産について、

詳しくは、商工観光課

(☎0287-831111

5)までお問い合わせください。市の公式ホームページでも紹介しています。

■NPO法人野うさぎくらぶ 矢口和美代表

子育ての上でも重要な「郷土愛」

「野うさぎくらぶ」は、子育て支援などに取り組みNPO法人です。

学童放課後児童クラブの活動で、2年前に和紙の鯉のぼり作りをしたと

きに、まちづくり研究会や足利工業大学とのかかわりができ、近代化遺産を市民に認識してもらう必要性を感じました。「郷土愛」は、子育ての上でも重要なこと。子どもたちに地域への愛着を持ってもらうために、近代化遺産に関する事業に取り組みました。

今回展示した作品は、市内5か所の学童利用者によるものです。実際に近代化遺産を見学するミステリーツアーを学童単位で実施し、記憶に残るもの子どもたちに描いてもら

いました。事前に、足利工業大学の学生が、子ども向けの冊子を作り、授業もしてくれました。

事業を通して、子どもたちの近代化遺産への関心が高まりました。建築物そのものや造られた背景など、興味は様々ですが、保護者より詳しくなりました。

これらの取り組みは、子育て支援の枠の中だけでは限界があるため、他の団体と連携しながら、郷土愛を大切に育てていきたいです。



まちなか観光ツアー。



平成26年春 蓄電池電車を烏山線に導入



新型車両のイメージ(JR東日本提供)。

■車両概要▷車両形式:EV-E301(パンタグラフ付)・EV-E300▷定員134人・131人(座席定員51人・48人)
【共通】▷車両重量:40トン▷最高速度:時速100キロ▷出入口:片側3か所▷座席配置:ロングシート▷蓄電池:リチウムイオン電池600V-95kwh▷フル充電で約40キロ走行、室内照明は全てLED。※計画値のため変更の場合あり。

JR東日本では、非電化区間の新たな環境対策として開発を進めてきた「蓄電池駆動電車システム」を採用した新型車両を、平成26年春頃、烏山線に導入すると発表しました。

これまで同社では、蓄電池で走行する「NE Trainスマート電池くん」の試験走行を烏山線区間で実施するなど、新システムの性能評価や技術的検証を重ねてきました。このほど実用性の確認ができたことから、JRグループで初めて、宇都宮―烏山間に2両1編成を導入します。最終的には、烏山線の気動車8両4編成を全て新型車両にする予定です。

この新システムは、車両に大容量の蓄電池を搭載して、非電化区間の走行を可能にするもの。これにより、気動車の排気ガス解消や、二酸化炭素(対気動車約60%削減)・騒音の低減が実現できます。電化区間では、通常の電車と同様に、架線からの電力で走行しながら蓄電池に充電します。非電化区間では、蓄電池の電力で走行し、烏山駅に設置する専

用の充電設備で、走行に必要な充電を行います。

同社では、烏山線の選定理由を「気動車と比べ二酸化炭素削減等の効果が期待でき、線区の長さも蓄電池搭載容量に適している。電化区間と非電化区間の直通運転を行えるメリットもある」としています。

市では、これまで、JR東日本大宮支社に烏山線存続などの要望活動が続けてきました。新型車両の導入が実現すると、市民の足として利便性が向上するばかりでなく、誘客の面でも大きな効果が期待できることから、導入に合わせた取り組みを検討していきます。



試験走行時に公開された充電設備の一部。

あなたの税が未来を拓く 市町村税徴収強化月間2012冬

◆県下一斉の取組

県内の各市町では、納税の公平と税収の確保を図るため、11～12月を「市町村税徴収強化月間2012冬」として、栃木県と協力して、県下一斉に徴収強化に取り組んでいます。

◆納期内に納付を

市税の滞納は、市の財政を圧迫し、福祉や教育などの市民サービスに支障をきたします。そして、納期内に税金を納めている大多数の皆さんとの公平性を欠くことになります。

◆差し押さえを強化

税金を納期限までに納めなかった人には、まず「督促状」が送付されます。この督促状が発送された日から10日を経過した日までに完納しなかったときには、市は滞納者の財産(預貯金、生命保険、不動産、給料、自動車、動産(電化製品や美術品、貴金属等))を差し押さえることが法律で定められています。自動車の差し押さえには、タイヤロック(写真)を使う場合もあります。

◆事情がある場合は相談を

病気や失業、事業の廃止、災害にあったなど、やむを得ない理由で税金を納期内に納めることが困難な人は、市税務課収納対策室まで連絡してください。

■税務課収納対策室

☎0287-88-7113



■市の工事請負等契約

(前月20日までの入札結果、単位は千円、130万円以上)

事業名	箇所	業者名	金額	工期
平成23年台風15号 農地・農業用施設 18/215 22/215 59/215 64/215 74/215 災害復旧事業	大桶・中山	(有)相河組	2,562	11/5～1/18
平成23年台風15号 農地・農業用施設 48/215 51/215 52/215 70/215 災害復旧事業	八ヶ代・曲畑	(有)板橋建設	7,224	10/30～2/6
平成23年台風15号 農地・農業用施設 56/215 57/215 72/215 災害復旧事業	小木須・小原沢	(有)田村建設	2,572	11/5～1/3
平成23年台風15号 農地・農業用施設 20/215 21/215 75/215 78/215 85/215 災害復旧事業	向田・滝・ 中山	(有)清美建設	7,066	11/1～2/12
平成23年台風15号 農地・農業用施設 24/215 26/215 69/215 86/215 585/215 災害復旧事業	宇井・月次・ 藤田・中山	木島興業(有)	6,615	10/31～1/28
平成23年台風15号 農地・農業用施設 46/215 災害復旧事業	三箇	木島興業(有)	1,386	10/30～12/28
平成23年台風15号 農地・農業用施設 25/215 47/215 81/215 災害復旧事業	上川井・ 福岡・八ヶ代	(有)糸井建設	2,593	11/5～1/18
平成24年5月豪雨 農地・農業用施設 1/215 501/215 災害復旧事業	八ヶ代	木島興業(有)	4,032	11/12～1/25
虻塚滝原線道路排水施設整備工事(道路保 全費)その1	野上	(有)高沼ブロック工業	5,124	10/30～12/28
野上台幹線道路排水施設整備工事(道路保 全費)その1	野上	(有)高沼ブロック工業	7,056	10/30～12/28
田野倉大金線道整備交付金工事その2	大金	(有)糸井建設	2,520	10/29～12/28
田野倉小白井線道路排水施設整備工事(道 路保全費)その1	小倉	木島興業(有)	3,769	11/6～12/28
高瀬森田線舗装修繕工事(道路保全費)その1	高瀬	(有)板橋建設	4,439	11/5～12/28
宮内清水線道路整備工事(道路保全費)その2	向田	(有)高沼ブロック工業	3,360	11/20～3/8
三ツ木松ノ木線道路整備工事その1	上境	森島建設(有)	29,190	11/8～3/8
三ツ木松ノ木線道路整備工事その2	上境	日光総業(株)	25,410	11/7～3/8
道路維持管理業務委託その2	東部地区	(有)田村建設	3,885	10/29～3/25
道路維持管理業務委託その2	西部地区	木島興業(有)	3,916	10/29～3/25
道路維持管理業務委託その2	南部地区	(有)板橋建設	3,969	10/29～3/25
道路維持管理業務委託その2	北部地区	(有)相河組	3,906	11/5～3/25
西野配水場(管理棟・配水池)補修工事	三箇地内	荒井工業(株)	7,035	11/1～1/9
第5分団第3部消防車庫新築工事	下川井	(株)中山建設	10,815	11/19～3/18
第7分団第1部消防車庫新築工事	南大和久	荒井工業(株)	11,014	11/15～3/14
第8分団第2部消防車庫新築工事	大里	(有)岡建築工業	4,473	11/7～3/7
藤田地区防火水槽築造工事	藤田	木島興業(有)	4,305	11/7～2/4
観光案内標識板修正工事	向田ほか	宇都宮塗料工業(株)	3,780	11/26～2/28
いかんべ記念館解体工事	南大和久	(株)中山建設	7,980	11/12～1/10
観光物産センター解体工事	大金	(株)荒川建設	4,914	11/2～12/28
烏山小・中学校共同調理場解体及び給食用 配膳室改修工事設計業務委託	愛宕台	(株)澤口設計事務所	1,806	11/5～2/8
舟戸中継ポンプ場実施設計業務	野上地内	オリジナル設計(株)	20,895	10/26～3/8
公共下水道事業認可変更設計業務	下水道計画区域	オリジナル設計(株)	7,560	10/26～3/8
中央2丁目鍛冶町泉町線設計業務委託(道 路整備費)その31	中央	日昌測量設計(株)	4,347	11/20～3/25
下町最前川原線設計業務委託(道路整備費) その31	大桶	日本公共測量(株)	4,830	11/20～3/25

入札等に関するお問い合わせは、総務課管財係 ☎0287-83-1111 まで。

秋の叙勲

川上光正さんが郵政業務で受章

文化の日の11月3日、秋の叙勲が発表され、川上光正さん(谷浅見)が、郵政業務の功績で瑞宝単光章を受章しました。

川上さんは、昭和42年に横浜の川和郵便局員となり配達業務に従



事。55年に烏山局、平成15年に西那須野局を経て、翌年に退職するまで37年間、郵政業務に尽力されました。この間に3回、業務向上の功労などにより、大臣表彰を受賞しています。

川上さんは、「地道にコツコツ仕事をしていただけなので、叙勲受章は自分でも意外だった。まわりで支えてくれた皆さんのおかげと感謝する」と話していました。現在は、老人ホームで三味線を演奏するなど、地域のボランティア活動に取り組みられています。

烏山地区配食サービスボランティア 厚生労働大臣表彰を受賞

高齢者に手作り弁当を届けるボランティアグループ「烏山地区配食サービスボランティア」(小林淑江会長が、このほど、共に支え合う地域づくりに貢献したとして、厚生労働大臣表彰を受賞しました。

同会は、支援を必要とする高齢者に弁当を届け、孤独感の解消や安否確認を図ろうと、平成

3年に設立されたグループです。毎月第3火曜日、烏山地区の一人暮らし高齢者への配食を21年にわたり続けてきました。現在は65人の会員が、地区内の公民館等で高齢者向けの健康的な弁当を調理し、対象者宅へ届けながら、声掛けなどの見守り活動をしています。小林会長は、「今回の受賞を励

叙勲・受賞

おめでとうございます

烏山中の安藤史帆さん

「税についての作文」で知事賞

全国納税貯蓄組合連合会及び国税庁が主催する平成24年度第46回中学生の「税についての作文」で、烏山中学校3年の安藤史帆さんが、栃木県知事賞を受賞しました。この事業は、中学生に正しく「税」を理解してもらうことを目的に実施されています。

安藤さんの作品は、山あげ祭を通して税の大切さなどを訴えたものでした。「伝統継承のためにも税金は必要なもの。作文で書いたことを自分でも守りたい」と話します。なお、同校には、応募点数の多さや4人が入賞したことから、感謝状が贈られました。



表彰状を受け取る安藤さんと、右手前から堀江さん、阿久津さん、佐藤さん。



表彰状を手にする小林さんと役員の方々。

みに、今後でもできるだけ長く活動を続けていきたい」と喜びを語りました。

8020運動

川俣イチノさんに歯科医師会長賞

「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」と呼びかける8020(ハチ・マル・ニイ・マル)運動の一環で、川俣イチノさん(野

上)が、このほど、栃木県歯科医師会長賞を受賞しました。

現在24本が自分の歯だという川俣さんは、「よく歯を磨くことと、好き嫌いをなく食べ、歯を心掛けていく」とのこと。「歯の痛みを感じる前に、少しでも気になると歯医者で治療してもらうようにしている。こまめな手入れも健康な歯を保つ秘訣」と笑顔で話してくれました。



「なんでもおいしく食べています」と川俣さん。

市消防団 非常時に備え人員や機械器具、放水を点検

通常点検

那須烏山市消防団(奥野一美団長)通常点検が、11月11日、大桶運動公園を主会場に開かれ、団員や来賓700人が参加しました。

消防団は、市民の生命や財産を守るため、火災や水害などの際には、速やかな出動が求められます。

この点検では、非常時に備えるために人員、服装、機械器具、放水などを確認するとともに、市民の防火・防災意識や、団員の士気高揚なども図ります。

当日は、8分団40部から465



人員並びに服装点検。

人、女性2部から20人、市内3中学校の少年消防隊員77人が参加しました。講評、訓示の後には表彰が行われ、消防活動に功績のあった団員や団体などに表彰状が手渡されました。

参加者は、烏山市街地に移動して、市役所烏山庁舎から山あげ会館まで分列行進を実施。沿道で多くの市民が見守る中、団員と消防車両43台が行進しました。

なお、模範消防団員知事表彰、県消防協会長表彰の受賞者は次のとおりです。(敬称略)

■栃木県知事表彰

▽模範消防団員表彰

高野誠一、矢野説哉

■栃木県消防協会長表彰

▽功績章

小鍋孝志、渡邊兼一

▽勤続章

【25年】大森則行

【20年】渡邊兼一、関口正美、青木一彦、大森正、永島一広、中山仁士

【15年】鈴木幸一、服部吉和、高德隆一、加藤光一、横山壮一、鈴木正寿、塩野目一浩、佐藤信幸、山村浩之、堀江義弘、堀江辰徳、山村優一、齋藤明、手束修、小泉実、洪井英樹、駒場武、相吉澤徹、佐藤将行

【10年】仲山健司、岡崎和正、小林輝幸、大橋誠、岡紀行、高久英明、森裕司、大笹和博、塩田一幸、糸井敦史、岡一彦、吉成孝浩、清水友彦、川越敏浩、菊地俊行、池尻雅洋、滝口英幸、滝口純、宮内勝、相吉澤健、平野淳一、仲山泰幸、吉川卓、平山宗治、久保居章夫、久保居悟、平山裕一、

黒石田利文、薄井正敏、高橋達大、笠原勇一、早乙女裕之、堤潤、玉造博史、鈴木則男、小池剛、小池豊

▽親子消防団員表彰

小池明男、菊地真理子

地域の防災意識を向上 月次・大金台 合同消火訓練

月次・大金台の市民約50人が集まり、11月24日、矢崎部品(株)ラウンドで両自治会合同の消火訓練を実施しました。

この訓練は、昨年実施した防災訓練で地元住民が防災への関心が強いと分かり、月次の仲山勝司自治会長が、「火災時に重要な初期消火を学んでほしい」と企画したものです。

当日は、南那須地区広域行政事務組合消防本部と地元月次消



燃え上がる火を消火器で。

防団の協力のもと、参加者は自宅にあった消火器を持参して、初期消火を体験。持ち込んだ消火器のなかには、実際に使用できないものがあるなど、確認にも役立ちました。貴重な体験に「勉強になる」という声が会場で多数聞こえてきました。

自転車マナーアップ 旭交差点で 啓発活動

那須烏山警察署では、11月8日、旭交差点で「自転車マナーアップキャンペーン」を実施しました。毎月8日を「自転車安全利用強化日」と定め、その一環で街頭広報啓発活動を展開したものです。

当日は、警察関係者や市職員が、自転車での通行人に路側帯の正しい通行方法、ヘルメット着用などを呼び掛けながら、自転車用反射材を配布しました。



安全運転を呼び掛ける。